

# 年間活動計画案

## 2学期制

※基本的には、1年生が上巻、2年生が下巻として設定しています。  
 ※丸囲み数字は配当時数、( )内の数字はゆりの時数。

	4月⑥	5月⑫	6月⑫	7月⑥	9月⑨	10月前③
第1学年93+(9)	わたしとがっこう ともだちだいすき がっこうだいすき	⑭	はるからなつへ わたしとさんぽ さんさんおひさま いちにさんぽで	⑫	あきあきあきあき わたしとさんぽあき あきあきあきあき	③

10月後⑨	11月⑫	12月⑥	1月⑨	2月⑫	3月⑥
⑨	⑫	⑥	⑨	⑫	⑥
⑩	⑪	⑦	⑧	⑬	⑤
⑪	⑧	⑧	⑧	⑬	⑤
⑫	⑤	⑧	⑧	⑬	⑤
⑬	⑤	⑧	⑧	⑬	⑤
⑭	⑤	⑧	⑧	⑬	⑤
⑮	⑤	⑧	⑧	⑬	⑤
⑯	⑤	⑧	⑧	⑬	⑤
⑰	⑤	⑧	⑧	⑬	⑤
⑱	⑤	⑧	⑧	⑬	⑤
⑲	⑤	⑧	⑧	⑬	⑤
⑳	⑤	⑧	⑧	⑬	⑤
㉑	⑤	⑧	⑧	⑬	⑤
㉒	⑤	⑧	⑧	⑬	⑤
㉓	⑤	⑧	⑧	⑬	⑤
㉔	⑤	⑧	⑧	⑬	⑤
㉕	⑤	⑧	⑧	⑬	⑤
㉖	⑤	⑧	⑧	⑬	⑤
㉗	⑤	⑧	⑧	⑬	⑤
㉘	⑤	⑧	⑧	⑬	⑤
㉙	⑤	⑧	⑧	⑬	⑤
㉚	⑤	⑧	⑧	⑬	⑤
㉛	⑤	⑧	⑧	⑬	⑤
㉜	⑤	⑧	⑧	⑬	⑤
㉝	⑤	⑧	⑧	⑬	⑤
㉞	⑤	⑧	⑧	⑬	⑤
㉟	⑤	⑧	⑧	⑬	⑤
㊱	⑤	⑧	⑧	⑬	⑤
㊲	⑤	⑧	⑧	⑬	⑤
㊳	⑤	⑧	⑧	⑬	⑤
㊴	⑤	⑧	⑧	⑬	⑤
㊵	⑤	⑧	⑧	⑬	⑤
㊶	⑤	⑧	⑧	⑬	⑤
㊷	⑤	⑧	⑧	⑬	⑤
㊸	⑤	⑧	⑧	⑬	⑤
㊹	⑤	⑧	⑧	⑬	⑤
㊺	⑤	⑧	⑧	⑬	⑤
㊻	⑤	⑧	⑧	⑬	⑤
㊼	⑤	⑧	⑧	⑬	⑤
㊽	⑤	⑧	⑧	⑬	⑤
㊾	⑤	⑧	⑧	⑬	⑤
㊿	⑤	⑧	⑧	⑬	⑤
1	⑤	⑧	⑧	⑬	⑤
2	⑤	⑧	⑧	⑬	⑤
3	⑤	⑧	⑧	⑬	⑤
4	⑤	⑧	⑧	⑬	⑤
5	⑤	⑧	⑧	⑬	⑤
6	⑤	⑧	⑧	⑬	⑤
7	⑤	⑧	⑧	⑬	⑤
8	⑤	⑧	⑧	⑬	⑤
9	⑤	⑧	⑧	⑬	⑤
10	⑤	⑧	⑧	⑬	⑤
11	⑤	⑧	⑧	⑬	⑤
12	⑤	⑧	⑧	⑬	⑤
13	⑤	⑧	⑧	⑬	⑤
14	⑤	⑧	⑧	⑬	⑤
15	⑤	⑧	⑧	⑬	⑤
16	⑤	⑧	⑧	⑬	⑤
17	⑤	⑧	⑧	⑬	⑤
18	⑤	⑧	⑧	⑬	⑤
19	⑤	⑧	⑧	⑬	⑤
20	⑤	⑧	⑧	⑬	⑤
21	⑤	⑧	⑧	⑬	⑤
22	⑤	⑧	⑧	⑬	⑤
23	⑤	⑧	⑧	⑬	⑤
24	⑤	⑧	⑧	⑬	⑤
25	⑤	⑧	⑧	⑬	⑤
26	⑤	⑧	⑧	⑬	⑤
27	⑤	⑧	⑧	⑬	⑤
28	⑤	⑧	⑧	⑬	⑤
29	⑤	⑧	⑧	⑬	⑤
30	⑤	⑧	⑧	⑬	⑤
31	⑤	⑧	⑧	⑬	⑤
32	⑤	⑧	⑧	⑬	⑤
33	⑤	⑧	⑧	⑬	⑤
34	⑤	⑧	⑧	⑬	⑤
35	⑤	⑧	⑧	⑬	⑤
36	⑤	⑧	⑧	⑬	⑤
37	⑤	⑧	⑧	⑬	⑤
38	⑤	⑧	⑧	⑬	⑤
39	⑤	⑧	⑧	⑬	⑤
40	⑤	⑧	⑧	⑬	⑤
41	⑤	⑧	⑧	⑬	⑤
42	⑤	⑧	⑧	⑬	⑤
43	⑤	⑧	⑧	⑬	⑤
44	⑤	⑧	⑧	⑬	⑤
45	⑤	⑧	⑧	⑬	⑤
46	⑤	⑧	⑧	⑬	⑤
47	⑤	⑧	⑧	⑬	⑤
48	⑤	⑧	⑧	⑬	⑤
49	⑤	⑧	⑧	⑬	⑤
50	⑤	⑧	⑧	⑬	⑤
51	⑤	⑧	⑧	⑬	⑤
52	⑤	⑧	⑧	⑬	⑤
53	⑤	⑧	⑧	⑬	⑤
54	⑤	⑧	⑧	⑬	⑤
55	⑤	⑧	⑧	⑬	⑤
56	⑤	⑧	⑧	⑬	⑤
57	⑤	⑧	⑧	⑬	⑤
58	⑤	⑧	⑧	⑬	⑤
59	⑤	⑧	⑧	⑬	⑤
60	⑤	⑧	⑧	⑬	⑤
61	⑤	⑧	⑧	⑬	⑤
62	⑤	⑧	⑧	⑬	⑤
63	⑤	⑧	⑧	⑬	⑤
64	⑤	⑧	⑧	⑬	⑤
65	⑤	⑧	⑧	⑬	⑤
66	⑤	⑧	⑧	⑬	⑤
67	⑤	⑧	⑧	⑬	⑤
68	⑤	⑧	⑧	⑬	⑤
69	⑤	⑧	⑧	⑬	⑤
70	⑤	⑧	⑧	⑬	⑤
71	⑤	⑧	⑧	⑬	⑤
72	⑤	⑧	⑧	⑬	⑤
73	⑤	⑧	⑧	⑬	⑤
74	⑤	⑧	⑧	⑬	⑤
75	⑤	⑧	⑧	⑬	⑤
76	⑤	⑧	⑧	⑬	⑤
77	⑤	⑧	⑧	⑬	⑤
78	⑤	⑧	⑧	⑬	⑤
79	⑤	⑧	⑧	⑬	⑤
80	⑤	⑧	⑧	⑬	⑤
81	⑤	⑧	⑧	⑬	⑤
82	⑤	⑧	⑧	⑬	⑤
83	⑤	⑧	⑧	⑬	⑤
84	⑤	⑧	⑧	⑬	⑤
85	⑤	⑧	⑧	⑬	⑤
86	⑤	⑧	⑧	⑬	⑤
87	⑤	⑧	⑧	⑬	⑤
88	⑤	⑧	⑧	⑬	⑤
89	⑤	⑧	⑧	⑬	⑤
90	⑤	⑧	⑧	⑬	⑤
91	⑤	⑧	⑧	⑬	⑤
92	⑤	⑧	⑧	⑬	⑤
93	⑤	⑧	⑧	⑬	⑤
94	⑤	⑧	⑧	⑬	⑤
95	⑤	⑧	⑧	⑬	⑤
96	⑤	⑧	⑧	⑬	⑤
97	⑤	⑧	⑧	⑬	⑤
98	⑤	⑧	⑧	⑬	⑤
99	⑤	⑧	⑧	⑬	⑤
100	⑤	⑧	⑧	⑬	⑤

	4月⑨	5月⑫	6月⑫	7月⑥	9月⑨	10月前③
第2学年100+(5)	わたしとさんぽ町 ふれあいたんけん ふしぎたんけん	⑯	なかくなりたい 生きもの 生きて いきいきキラキラ	⑭	⑥	③

10月後⑨	11月⑫	12月⑥	1月⑨	2月⑫	3月⑥
⑨	⑫	⑥	⑨	⑫	⑥
⑩	⑫	⑥	⑨	⑫	⑥
⑪	⑫	⑥	⑨	⑫	⑥
⑫	⑫	⑥	⑨	⑫	⑥
⑬	⑫	⑥	⑨	⑫	⑥
⑭	⑫	⑥	⑨	⑫	⑥
⑮	⑫	⑥	⑨	⑫	⑥
⑯	⑫	⑥	⑨	⑫	⑥
⑰	⑫	⑥	⑨	⑫	⑥
⑱	⑫	⑥	⑨	⑫	⑥
⑲	⑫	⑥	⑨	⑫	⑥
⑳	⑫	⑥	⑨	⑫	⑥
㉑	⑫	⑥	⑨	⑫	⑥
㉒	⑫	⑥	⑨	⑫	⑥
㉓	⑫	⑥	⑨	⑫	⑥
㉔	⑫	⑥	⑨	⑫	⑥
㉕	⑫	⑥	⑨	⑫	⑥
㉖	⑫	⑥	⑨	⑫	⑥
㉗	⑫	⑥	⑨	⑫	⑥
㉘	⑫	⑥	⑨	⑫	⑥
㉙	⑫	⑥	⑨	⑫	⑥
㉚	⑫	⑥	⑨	⑫	⑥
㉛	⑫	⑥	⑨	⑫	⑥
㉜	⑫	⑥	⑨	⑫	⑥
㉝	⑫	⑥	⑨	⑫	⑥
㉞	⑫	⑥	⑨	⑫	⑥
㉟	⑫	⑥	⑨	⑫	⑥
1	⑫	⑥	⑨	⑫	⑥
2	⑫	⑥	⑨	⑫	⑥
3	⑫	⑥	⑨	⑫	⑥
4	⑫	⑥	⑨	⑫	⑥
5	⑫	⑥	⑨	⑫	⑥
6	⑫	⑥	⑨	⑫	⑥
7	⑫	⑥	⑨	⑫	⑥
8	⑫	⑥	⑨	⑫	⑥
9	⑫	⑥	⑨	⑫	⑥
10	⑫	⑥	⑨	⑫	⑥
11	⑫	⑥	⑨	⑫	⑥
12	⑫	⑥	⑨	⑫	⑥
13	⑫	⑥	⑨	⑫	⑥
14	⑫	⑥	⑨	⑫	⑥
15	⑫	⑥	⑨	⑫	⑥
16	⑫	⑥	⑨	⑫	⑥
17	⑫	⑥	⑨	⑫	⑥
18	⑫	⑥	⑨	⑫	⑥
19	⑫	⑥	⑨	⑫	⑥
20	⑫	⑥	⑨	⑫	⑥
21	⑫	⑥	⑨	⑫	⑥
22	⑫	⑥	⑨	⑫	⑥
23	⑫	⑥	⑨	⑫	⑥
24	⑫	⑥	⑨	⑫	⑥
25	⑫	⑥	⑨	⑫	⑥
26	⑫	⑥	⑨	⑫	⑥
27	⑫	⑥	⑨	⑫	⑥
28	⑫	⑥	⑨	⑫	⑥
29	⑫	⑥	⑨	⑫	⑥
30	⑫	⑥	⑨	⑫	⑥
31	⑫	⑥	⑨	⑫	⑥
32	⑫	⑥	⑨	⑫	⑥
33	⑫	⑥	⑨	⑫	⑥
34	⑫	⑥	⑨	⑫	⑥
35	⑫	⑥	⑨	⑫	⑥
36	⑫	⑥	⑨	⑫	⑥
37	⑫	⑥	⑨	⑫	⑥</

### 3 学期制

※基本的には、1年生が上巻、2年生が下巻として設定しています。  
 ※丸囲み数字は配当時数、( )内の数字はゆりの時数。

	4月⑥	5月⑫	6月⑫	7月⑥
第1学年93+(9)	わたしとがっこう— ともだちだいすき がっこうだいすき	⑭	はるからなつへ— わたしとさんぽ さんさんおひさま いちにさんぽで	⑫
		さかせたい— わたしのはなを るんららん はながうたうよ	パート1 ⑧	

	9月⑨	10月⑫	11月⑫	12月⑥
パート2 ⑥		あきあきあきあき わたしとさんぽあき— あきあきあきあき あきあきあきあき	⑳	わたしとさんぽふゆ— しろいききはきながら
	パート2 ⑥			パート1 ⑥

	1月⑨	2月⑫	3月⑥
パート2 ⑨		わたしのおねんかん— おもいでいっぱい ともだちいっぱい	⑱

	4月⑨	5月⑫	6月⑫	7月⑥
第2学年100+(5)	わたしとさんぽ町— ふれあいたんけん ふしぎたんけん	パート1 ⑯	いいきキラキラ 生きている 生きもの なかよくなりた—	パート1 ⑫
		おひさまの おいっぱい	つくりたい— わたしのやさいを やさい とれたての	パート1 ⑪

	9月⑨	10月⑫	11月⑫	12月⑥
パート2 ②		あそびたい— みんなでつくって あそんでワイワイ つくってワクワク	⑱	わたしとかぞく— いっしょにいるとあんしん
	パート2 ②			パート1 ②

	1月⑨	2月⑫	3月⑥
パート2 ⑩		大きくなったよ— すくすくぐんぐん	⑭

# 生活科新教育課程への移行措置について

新学習指導要領は、平成23年度から全面実施されます。それまでの期間（特に平成21、22年度）は、移行期間として、新学習指導要領に移行するために必要な措置をとることとなります。

## I 生活科の移行措置

新しい生活科への移行措置は、中教審答申の中で述べられている生活科指導要領改善の趣旨である次の4点を中心に検討していくとよいでしょう。

- ①気付きの質を高め、活動や体験を一層充実するための学習活動を重視する。
- ②科学的な見方・考え方の基礎を養う観点から、自然の不思議さや面白さを実感する学習活動を取り入れる。
- ③児童を取り巻く環境の変化を考慮し、安全教育を充実することや、自然の素晴らしさ、生命の尊さを実感する学習活動を充実する。
- ④小学校における教科学習への円滑な移行のための指導を一層充実するとともに、幼児教育との連携を図り、異年齢での教育活動

を一層推進する。

## II 移行措置のポイント

### 1 気付きの質を高め、活動や体験を一層充実するための学習活動を重視する

自分のよさや可能性に気付いたり、気付きを自覚したりするなど、児童の気付きを質的に高め、活動や体験を一層充実したものとすよう改善を図ることが求められています。その際、例えば、見つける、比べる、たとえば、多様な学習活動の充実に配慮する必要があります【※指導計画の作成と内容の取り扱い2-(2)】、【★改善の具体的事項(ア)】。

子どもたちは、気付きがあることで行動に移ることができます。つまり、日常の授業においては、気付きに関する認識の目を養うように取り組んでいく必要があるといえます。実践の中で、教師が、意図的に気付きの質を高める工夫をすることもたいせつです。

また、これまで以上に具体的な活動や体験を行うことが求められています。その際、身近な幼児や高齢者、障害のある児童生徒な

ど、多様な人々と触れ合うことができるようにするとよいでしょう【※指導計画の作成と内容の取り扱い2-(3)】。

活動や体験を繰り返し行うことによって、伝えたい思いが膨らみ、表現を豊かにするという点にも配慮し、活動や体験したことを言葉や絵で表す学習活動を一層重視することも求められています【※目標(4)】、【★改善の具体的事項(イ)】。

さらには、身の回りの人とのかかわりや自分自身のことについて考えるために、自分の生活の中の出来事や体験したことを相手に応じて伝え合ったり、自ら振り返ったりする学習活動を充実することが求められています【※内容(8)】、【★改善の具体的事項(イ)】。

その際、児童が自らの成長を実感できるよう、低学年の児童が幼児と一緒に学習活動を行うなどの配慮をする必要があります【★改善の具体的事項(オ)】。

### 2 自然の不思議さや面白さを実感する学習活動を取り入れる

科学的な見方・考え方の基礎を養う観点か

ら、中学年以降の理科の学習を視野に入れて、児童が自然の不思議さや面白さを実感するよう、遊びを工夫したり、遊びに使うものを工夫してつくったりする学習活動を充実することが求められています。

特に遊びでは、これまで、単に遊びを工夫したり、みんなで遊んでいたりとということが多く見られましたが、「面白さや自然の不思議さに気づく」ようにしていく必要があります。身近な自然を利用したり、身近にある物を使ったりなどして、遊びや遊びに使う物を工夫して作り、その面白さや自然の不思議さに気づき、みんなで遊びを楽しむことができるようにすることがたいせつです。例えば、動くおもちゃを工夫してつくって遊ぶ活動、ものを水に溶かして遊ぶ活動、風を使って遊ぶ活動などを行うよう配慮することが考えられます【※内容(6)】、【★改善の基本方針、改善の具体的事項(ウ)】。

### 3 安全教育の充実と自然の素晴らしさ、生命の尊さを実感する学習活動の充実

児童を取り巻く環境の変化を考慮し、安全教育を充実することが求められています。特に生活科では、通学路の様子を調べ、安全を

守ってくれる人々に関心をもつなど、安全な登下校に関する指導の充実に配慮することがポイントでしょう。

また、自然に直接触れる体験や、動植物を自分たちで継続的に育てることを重視するなど、これまで以上に自然の素晴らしさや生命の尊さを実感する指導の充実に配慮することがたいせつです【★改善の基本方針、改善の具体的事項(エ)】。

### 4 生活科を核とした単元構想

小1プロブレムを解消するため、小学校における教科学習への円滑な移行のための指導を一層充実することが求められています。また幼児教育との連携を図り、異年齢での教育活動を一層推進することもたいせつなポイントとなります。

特に小学校第1学年入学当初において、生活科が中心的な役割を担いつつ、国語科、音楽科、図画工作科など他教科等の内容を合わせて生活科を核とした単元を構成したり、他教科等においても、生活科と関連する内容を取り扱ったりする合科的・関連的な指導の一層の充実を図ることがたいせつです【★改善の基本方針、改善の具体的事項(オ)】。

### 5 道徳との関連を考慮する

生活科においては、これまでも、道徳的な規範意識の確立、郷土愛など道徳的な面の育成が図られてきましたが、これまで以上に道徳との関連が求められています。

道徳の目標に基づき、道徳の時間などとの関連を考慮しながら、生活科の特質に応じて適切な指導をすることがたいせつです【※指導計画の作成と内容の取り扱い1-(4)】。

また、生活上必要な習慣や技能の指導については、人、社会、自然及び自分自身にかかわる学習活動の展開に即して行うようにすることもたいせつです【※目標、指導計画の作成と内容の取り扱い2-(4)】、【★改善の基本方針】。

## Ⅲ 授業を組み立てるにあたり

生活科において、どのような能力を育成していくのでしょうか。それは、これまでも実践されてきたように「よき生活者としての能力態度を養う」ということです。このことを考慮して授業を組み立てていく必要があると考えられます。

学期	月	単元名とねらい (時間)	小単元の目標 (頁)	主な学習活動	移行措置への対応	対応する主な項目
1	4	○わたしの せいかつ みんな なかよし (特設ページ) 教科書 P.2～3	自分の一日の生活を調べ、規則正しい生活や健康に気付けた生活ができるようになる。	・一日の生活をふり返ったり、仲よしの友だちがいることに気付く。	・学校生活を送るためには、規則正しい生活をしなければならないことに気付くようにする。特に入学当初、学校生活への適応を図る上での配慮をする。	★改善の具体的事項 (オ)
1	4-5	◇がっこう だいすき ともだち だいすき 教科書 P.4～27 [14時間]+15時間(※)  ※第3 指導要領の作成と内容の取扱い 1-(3) 生活科を中心とした合科的な指導を行うなどの工夫をするとよい例) 国語 (5), 図工, 特活, 道徳 (3), 音楽 (1) 合計 15時間	○いってきます いってらっしゃい (6～9) 交通の安全に気を付けて登下校をするとともに、出会った人に自ら進んで挨拶をすることができる。	・道路の横断など、学校に行くまでの交通のきまりを学ぶ。  ・近所の人や友だちなどへの挨拶の仕方や接し方などに気付く。	・交通ルールの指導との関連を図りながら、危険予知と併せて自己の安全を守るように配慮することに気付かせる。  ・道徳 (自分自身に関すること), 特活 (交通安全教室などを含めて) と関連的指導を図る。  ・安全を守っている人がいることに気付く、感謝の気持ちをもって自発的に挨拶ができるようにする。(学校生活への適応とコミュニケーション能力の基本の育成)	※内容 (1)  ※指導計画の作成と内容の取扱い 1-(4)  ※内容 (1) ★改善の具体的事項 (オ)
		・校舎内外の学校探検を通して、自分と学校生活を支えている人々や友だちのかかわり、施設の使い方がわかり、学校生活に安心して慣れ親しむことができる。 ・身近な生きものを飼育・観察する活動を通して、生きものの形や動きなどの特徴に関心を持ち、生きものと親しむとともに、生命の大切さに気付く、それらのことを絵や文にまとめることができる。	○なかよしの はじまり (10, 11) 互いに自分を紹介し合うとともに、友だちのことも知り、みんなと仲よく交流することができる。	・自分を紹介する名前や自画像などをつくる。  ・学級の友だちに自分を紹介する。  ・学級の友だちの名前や特徴を知る。	・近隣の大人や上級生・友だちなどへの挨拶の仕方や接し方を理解し、進んで交わろうとする態度を育てる。  ・道徳 (他の人とのかかわり), 特活 (学級活動) との関連を図る。  ・自分自身を見つめ、自分の特徴に気付く、友だちと伝え合ったりする活動へつなげる。  ・国語 (書くこと), 図工 (表現) との関連を図る。  ・友だちとの交流を図りながら互いに紹介し合い、理解し合って仲良く交流する。  ・道徳 (他の人とのかかわり) との関連を図る。  ・コミュニケーション能力を育てていく。	※内容 (1), (3)  ※指導計画の作成と内容の取扱い 1-(4)  ※目標 (3), 内容 (8)  ※指導計画の作成と内容の取扱い 1-(3)  ※内容 (1)  ※指導計画の作成と内容の取扱い 1-(4)  ※内容 (8)

		<p>○いっしょに あそぼうよ (12, 13) 遊具を使ったり、ゲームをしたりしながら、仲よく遊んだり、友だちと親しんだりすることができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ハンカチ落とし、じゃんけん列車などのゲームのルールを知り、ゲームを楽しむ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友だちとの交流を深めながら学校生活への適応を図る。</li> <li>・音楽（表現）、特活（学級活動）、道徳（集団とのかかわり）との関連を図る。</li> </ul>	<p>※内容（1）</p> <p>※指導計画の作成と内容の取扱い 1-(3)、(4)</p>
		<p>○なまえ かあど つくろう (14, 15) 校舎の中で出会う人に自分から進んで挨拶し、親しみをもち、安心して学校生活ができるようになる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校で会った人を思い浮かべる。</li> <li>・絵や名前を入れた自分のカードをつくり、校舎内探検をしながら出会った人に挨拶をしてカードをわたす。</li> <li>・わたすときの挨拶の仕方を知る。</li> <li>・誰に出会ったかまとめ、いろいろな人がいることに気付く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道徳（他の人とかかわり）との関連を図る。</li> <li>・他の人との交流を深めながら学校生活への適応を高めていく。</li> <li>・国語（話す・聞く）、図工（表現）との合科的な指導を図る。</li> <li>・気持ちのよい挨拶、言葉遣い、動作などに心掛け、明るく接することができるようにする。</li> <li>・いろいろな人がいることに気付くようにする。</li> <li>・道徳（他の人とかかわり）との関連を図る。</li> </ul>	<p>※指導計画の作成と内容の取扱い 1-(4)</p> <p>※内容（1）</p> <p>※指導計画の作成と内容の取扱い 1-(3)</p> <p>※内容（1）、(3)</p> <p>※内容（1）</p> <p>※指導計画の作成と内容の取扱い 1-(4)</p>
		<p>○がっこうを はじめて たんけん (16, 17) 校舎の中を探検し、学校生活を支えている人々や施設の様子に気付くことができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校舎の中を探検する。</li> <li>・施設や設備にふれたり、校舎内にあるさまざまなものを見つれたりする。</li> <li>・働いている人や学んでいる人のようすにふれる。</li> <li>・気付いたことや見つけたことを話す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上級生に案内してもらうような工夫もできる。（上級生との交流）</li> <li>・事前打ち合わせの上、できる限り施設・設備の開放に努め、学校にはみんなで使うものがいろいろあることに気付くようにする。</li> <li>・いろいろな人の支えによって学校生活ができることに気付くようにする。</li> <li>・国語（話す・聞く）との合科的な指導を図る。</li> </ul>	<p>※内容（1）</p> <p>※内容（1）</p> <p>※内容（1）</p> <p>※指導計画の作成と内容の取扱い 1-(3)</p>
1	4-5	<p>○おひさま いっぱい なかよし いっぱい (18, 19) 校舎の外を探検し、学校生活を支えている人々や動植物、施設などのようすに気付くことができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校舎の外を探検する。</li> <li>・施設や設備にふれて遊んだり、出会った人に挨拶したり、校庭にある動植物を見つれたりする。</li> <li>・気付いたことや見つけたことを話す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上級生に案内してもらうような工夫もできる。（上級生との交流）</li> <li>・伝え合う学習活動の充実を図る。</li> <li>・国語（話す・聞く）との合科的な指導を図る。</li> </ul>	<p>※内容（1）</p> <p>※内容（8）</p> <p>※指導計画の作成と内容の取扱い 1-(3)</p>

※：新学習指導要領 [生活] ★：中教審最終答申 8. 各教科・科目等の内容⑤生活

学期	月	単元名とねらい (時間)	小単元の目標 (頁)	主な学習活動	移行措置への対応	対応する主な項目
1	4-5		○こんにちは がっこうの いきものたち (20, 21) 飼育小屋の小動物や観察池の生きものなどを見たり、ふれたりしてみんなで親しむことができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上級生や先生に教えてもらいながら飼育小屋の小動物、観察池の生きものなどを見たりふれたりする。</li> <li>・生きものと遊んだことについて知らせ合う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校飼育の小動物との触れ合いを通して、生きものに親しみ、愛護する心情と態度を育てる。</li> <li>・道徳（自然や崇高なもののかかわり）と関連した指導。</li> </ul>	※内容 (7)  ※指導計画の作成と内容の取扱い 1- (4)
			○わたしも おてつだい (22) 学校の動物たちとふれ合い、遊んだり世話をしたりすることを通して、動物の特徴や成長のようすに気付くとともに、自分たちと同じように、生命あるものとして大切にすることができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・飼育係の上級生に教わりながら、学校で飼っている飼育動物の世話や、上級生の手伝いをする。</li> <li>・いろいろな動物の飼い方を知り世話をする。</li> <li>・自分たちの教室で、動物の世話の仕方について調べたり工夫したりして大きくなるまで育てる。</li> <li>・毎日の餌やりや清掃などの当番を決め、みんなで飼育する。</li> <li>・世話をした後の手洗いを励行する。</li> </ul> P.23のポケットずかん（いきもののでてかた）参照	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニケーション能力を育てる機会とする。</li> <li>・小動物との直接の触れ合いを通して、生きものにより親しみ、生きものを愛護する心情や生命を尊重する態度を育てていく。</li> <li>・道徳（自然や崇高なもののかかわり）、特活（学級活動）と関連させて扱う。</li> <li>・健康安全面からの点検と事前・事後の指導の徹底を図る。</li> </ul>	※内容 (8)  ※内容 (7)  ※指導計画の作成と内容の取扱い 1- (4)  ★改善の基本方針
			○がっこう まるごと くいず (24, 25) 学校探検のようすをふり返り、クイズ形式にまとめ、みんなで楽しむことができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校探検で見えたことやわかったことなどを、クイズにする。</li> <li>・みんなのつくったクイズに挑戦する。</li> </ul>		
			○かいたよ つくったよ (26, 27) 学校探検のようすをふり返り、楽しかったことや感じたことを自分なりの表現でまとめることができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校探検をふり返って、学校にあるさまざまなものを思いだして話したり、絵や文・工作で表したりする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校探検をふり返って、学校にあるさまざまなものを思い出して話したり、絵や文・工作等で表すことができるようにする。</li> <li>・その際、比べる、たとえるなど表現を工夫する。</li> </ul>	※指導計画の作成と内容の取扱い 2 - (2)

					・国語（話す・聞く）、図工（表現）との合科的な指導を図る。	※指導計画の作成と内容の取扱い1-(3)
1-2	5-9	◇はなが うたうよ るん らららん 教科書 P.28～41 [14 時間] ・自分で育てていきたい草花の栽培を通して、草花の育て方や苦労や工夫などに気付くとともに、生命の不思議さを感じ、友だちと協力して育て、収穫を喜び合うことができる。	○なにを そだてようか (30, 31) 自分が知っている花や調べた花の名前を挙げて、花の咲く植物に興味・関心をもち、育てたい花を決めたり、育てるための準備をする。	・知っている花の名前を挙げたり、花の思い出を話したりする。 ・咲かせてみたい花を絵や文で表現する。 ・自分で育ててみたい花の種を選ぶ。 ・種の入手方法を考え、お店で購入したりして、種を集める。	・身近な自然に咲く草花に興味や関心をもち、育ててみようとする意欲や態度を育てていく。 ・国語（話す・聞く）、図工（表現）との合科的な指導を図る。	※内容 (7) ※指導計画の作成と内容の取扱い1-(3)
		○おひさま みててね わたしのはなを (32, 33) 自分の選んだ花の種は、どんな花が咲くかを予想し、期待しながら、種蒔きをする。	・土を耕したり、土づくりをしたりしながら、種を蒔く準備をする。 ・種蒔きの仕方を調べたり教わったりしながら、自分で決めた花の種蒔きをする。	・自然の不思議さや面白さを実感する場面を丁寧に取り扱う。	※内容 (7) ★改善の基本方針	
		○げんきに そだってね (34, 35) 生長のようすを観察し、困ったことがあったときには互いに知恵を出し合いながら解決できる方法を考え、継続して世話をすることができる。	・水やりや支柱立て、草とりなどの世話を続けて行う。 ・栽培している植物に、お話をするような気持ちで接し、生長のようすや気付いたことなどを記録に書く。 ・困ったことは、みんなで知恵を出し合い、よい解決方法を考える。	・栽培している植物の生長の変化に気付いたことを記録する。その際、比べる、たとえるなど工夫しながら表現できるようにする。 ・国語（書く）、図工（表現）と合科的な指導を図る。	※目標 (4) ※指導計画の作成と内容の取扱い1-(3)	
		○さいた！ さいた！ (36, 37) 世話を続けてきた自分の花を飾ったり、楽しい遊びをしたりしながら、いっそう花に親しみをもつことができる。	・自分で栽培した花を部屋に飾ったり、さまざまな遊びをしたりする。 P.37 のポケットずかん（はなをつかって）参照	・世話を続けてきた自分の草花の生長過程を振り返りながら自然の不思議さや面白さを実感させる。 ・育ててきて咲いた花を活かして、飾ったり、楽しい活動をしたりして活動を発展させる。 （例えば、押し花づくりに挑戦したり、色水づくりや染色遊びなどの活動を導入する。）	※内容 (7) ※内容 (6)	

※：新学習指導要領【生活】 ★：中教審最終答申8. 各教科・科目等の内容⑤生活

学期	月	単元名とねらい (時間)	小単元目標 (頁)	主な学習活動	移行措置への対応	対応する主な項目
			○とれたね たね たね はなのたね (38, 39) 一粒の種からたくさんの種ができる不思議さに気付くとともに、春に咲く花の球根を植えたり、畑の準備をしたりすることができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>収穫した種を数えたり、プレゼントをつくったり、来年のために保存したりする。</li> <li>畑のお礼のために何をするとよいのかを調べ、落ち葉を集めたりお礼肥をしりする。</li> <li>卒業する6年生や新しい1年生のために、花づくりの計画を立て、栽培する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>一粒の種からたくさんの種ができること不思議さに気付くようにすると共に自然の巧みさを実感する。</li> <li>植物を育てることに興味や関心を持ち、さらに春咲く草花を育ててみようとする意欲と態度を育てていく。</li> <li>道徳（自然や崇高なもののかかわり）、特活（学級活動）と関連させて扱う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>※内容 (7)</li> <li>※指導計画の作成と内容の取扱い 1-(4)</li> </ul>
			○また そだてたいな (40, 41) 育てた花の世話をふり返り、いっそう花に親しみをもつことができるようになる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分で栽培した花の思い出をまとめる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>国語（書く）、図工（表現）と総合的な指導を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>※指導計画の作成と内容の取扱い 1-(3)</li> </ul>
1	6-7	◇いちにさんぽでさんさんおひさま 教科書P.42～57 [12時間] <ul style="list-style-type: none"> <li>通学路をさんぽしたり、近くの公共施設や自然で楽しく遊んだりする活動を通して、身近な自然に関心をもつとともに、交通の安全や公共施設の使い方、人のかかわりに気付くことができる。</li> <li>体全体で自然とふれ合い、自然と遊ぶ楽しさや季節の変化に気付くことができる。</li> </ul>	○さんぽに しゅっぱつ (44, 45) 交通規則を身に付けて、安全に通学路を散策することができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>通学路をさんぽする。</li> <li>交通規則を身に付け安全に歩行する。</li> <li>通学路を散策しながら、出あった人に挨拶したり、話を交わしたりする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>交通ルールや路上の歩行の仕方など事前指導の徹底を図る。</li> <li>道徳（社会とのかかわり）、特活（交通安全教室など）と関連して扱う。</li> <li>安全を守っている人がいることに気付き、より安全に歩行できるようにする。（安全指導の徹底）</li> <li>安全を守っている人に感謝の気持ちをもって挨拶したり、親しく声を交わしたりできるようにする。</li> <li>道徳（他の人とかかわり）との関連を図る。</li> <li>地域の人々と触れ合うことを通して、かかわることの楽しさを味わわせるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>※内容 (1)</li> <li>※指導計画の作成と内容の取扱い 1-(4)</li> <li>※内容 (1)</li> <li>※内容 (8)</li> <li>※指導計画の作成と内容の取扱い 1-(4)</li> <li>※内容 (3), (8)</li> </ul>
			○えがおで こんにちは (46, 47) 通学路のさんぽに出かけ、地域の人とふれ合ったり、地	<ul style="list-style-type: none"> <li>町にあるさまざまな工夫や興味あるものを見つける。</li> </ul>		

		域のようすを見てまわったりする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・気付いたことを記録カード(あのねかあど)にかく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全への配慮をする。</li> <li>・町で生活したり、働いたりしている人のようすや地域のようすに直接触れながら気付きの質を高めていく。</li> <li>・国語(書くこと)と総合的な指導を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>※内容(3)</li> <li>※指導計画の作成と内容の取扱い2-(2)</li> <li>※指導計画の作成と内容の取扱い1-(3)</li> </ul>
		○おひさま だいすき みどり が いっぱい(48, 49) 身近な公共の施設や自然に親しみ、さまざまな人と交わりながら、楽しく遊ぶことができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通学路の近くにある施設や自然を利用して遊ぶ。</li> <li>・ともに利用している地域の人々とお話をしたり、一緒に遊んだりする。</li> <li>・公共施設などの正しい利用の仕方について知る。</li> <li>・初夏のビンゴゲームを楽しむ。</li> </ul> P.52, 53のぼけっとずかん(くさばなあそび)参照	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身の回りには、みんなで使う公共施設や公共物があることに気づき、それらを大切に、安全に気を付けて正しく利用することができるように指導する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>※内容(4)</li> </ul>
		○にじいろの けいじばん(50, 51) 体全体を使って自然とでふれ合い、自然と遊ぶ楽しさや自然のおもしろさを味わう。また、季節感を味わう。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・諸感覚を使って夏さがしをする。</li> <li>・気付いたことを記録カード(あのねかあど)にかく。</li> </ul> P.52, 53のぼけっとずかん(くさばなあそび)参照	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道徳(自然や崇高なものとのかかわり)との関連を図る。</li> <li>・自然のものを使って遊び、その面白さや自然の不思議さを味わわせる。</li> <li>・国語(書くこと)との関連を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>※指導計画の作成と内容の取扱い1-(4)</li> <li>※内容(5), (6)</li> <li>※指導計画の作成と内容の取扱い1-(3)</li> </ul>
		○わくわく なつ さがし(54, 55) 通学路近くの野原や水辺、空き地などへさんぽに出かけ、身近な夏のような特徴に気付くことができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夏の虫や草花などをさがしたり、夏の季節を体感したりする。</li> <li>・採集した虫などを飼育する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夏の生活のようすや自然のようすを春の頃と比べたりしながらその変化に気付くようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>※内容(5)</li> </ul>
夏休み	7-8	◇なつやすみだよ やっほっほ! —特別単元—	長い夏休みを利用して、何か一つ自分でやってみたいことを決め、家の人の協力を得ながら挑戦する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夏の季節のようすや自然のようすの変化に気付いたことを記録カードや作品にまとめる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>※内容(5), 目標(4)</li> </ul>

学期	月	単元名とねらい (時間)	小単元の目標 (頁)	主な学習活動	移行措置への対応	対応する主な項目
2	9-11	◇あき あき あき あっ き れい 教科書 P.58～73 [20時間] ・秋のころのようすを探検したり、自然に親しんだりしながら、季節の変化に気付くことができる。また、秋のようすについて、いろいろな方法で表現したり、秋の素材を利用して遊ぶものづくりをしながら、人々との交流を深め、みんなと協力合って、楽しく遊んだり、よい人間関係をつくることことができる。	○わくわく あき さがし (60, 61) 夏さがしをした場所をさんぽし、秋さがしを楽しみながら季節によるようすの違いに気付く。	<ul style="list-style-type: none"> <li>夏さがしに行ったときと同じ通学路をさんぽする。</li> <li>通学路の秋のようす、秋の季節感やくらしなどを見つける。</li> <li>夏との違いを見つける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>春や夏との違いを見つけたり、比べたりしながら、秋の通学路のようすや秋の生活のようすを調べ、その変化や特徴に気付くようにする。</li> <li>国語（書くこと）と合科的な指導を図る。</li> </ul>	※内容 (5), 指導計画の作成と内容の取扱い 2-(2) ※指導計画の作成と内容の取扱い 1-(3)
			○おひさま だいすき いろいろ いっぱい (62, 63) 秋の自然を体感しながら、ネイチャーゲームやビンゴゲームなどの遊びを楽しみ、秋の季節のようすをとらえる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>通学路の近くにある施設や自然を利用して遊ぶ。</li> <li>木の葉のプール、滑り台など自然のものを利用したネイチャーゲームをする。</li> <li>チームを組んで秋さがしのビンゴゲームをする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>通学路の近くにある施設や自然を利用して遊ぶとともに身の回りにはみんなで使うものがあることに気付くようにする。</li> <li>道徳（自然や崇高なもののかかわり）との関連を図る。</li> <li>自然のものをを使って遊び、その面白さや自然の不思議さを味わわせる。</li> </ul>	※内容 (3), (4) ※指導計画の作成と内容の取扱い 1-(4) ※内容 (6)
			○ひかりの けいじばん (64, 65) 身近な自然に関心をもつとともに、秋の自然を体感しながら、楽しく遊び、季節の変化に気付きが深まる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>諸感覚を使って秋さがしをする。</li> <li>木の葉や木の実を集める。</li> <li>お面や飾りなど、採集したものをを使って作品をつくる。</li> <li>気付いたことを記録カード（あのねカード）にかく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>諸感覚を使って秋さがしをし、春や夏との違いを見つけたり、比べたりして自然の変化を実感させる。</li> <li>お面や飾りなど、採集したものをを使って工夫して作品をつくり、その楽しさや自然の巧みさ・不思議さに気付くようにする。</li> <li>春や夏との違いなど気付きの質の高まりの例を紹介したり、称賛したりする活動を取り入れる。</li> <li>国語（書くこと）と合科的な指導を図る。</li> </ul>	※内容 (5), (6) 指導計画の作成と内容の取扱い 2-(2) ※内容 (6) ※目標 (3), 内容 (5) ★改善の基本方針
			○なにが できるかな (68, 69) 2年生と一緒にいる秋祭りの計画を立てたり、工夫しながら楽しく準備したりすることができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>2年生と一緒にいる秋祭りの計画を話し合う。</li> <li>集めた木の実や木の葉を使ってどんなことができるか相談する。</li> <li>教科書の作品を参考に、グ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>友だちと話し合ったり、相談し合ったりする活動を充実する。</li> <li>図工（表現）、特活（学級活動）との関連を図る。</li> </ul>	※内容 (8) ※指導計画の作成と内容の取扱い 1-(3)

			<ul style="list-style-type: none"> <li>ループに分かれて作品をつくり出したりなどの練習をしたり、準備などをする。</li> <li>材料が足りなくなったら、野山や公園に集めに行く。</li> <li>お世話になった人や来ていただきたい人に招待状を書く。</li> </ul> <p>P.66, 67のポケットずかん(きのみやはをつかって) 参照</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自然のものを利用したり、身近にあるものを使ったりして遊びに使うものを工夫してつくり、その面白さや自然の不思議さを感じ得ることができるよう工夫する。</li> <li>事前指導や現地での安全指導の徹底を図る。</li> <li>国語(書くこと)、図工(表現)と合科的な指導を図る。</li> </ul>	<p>※内容(6)</p> <p>※内容(3)</p> <p>※指導計画の作成と内容の取扱い1-(3)</p>	
		<p>○おおぜい あつまるとなんだか わくわく(70~73)</p> <p>2年生やお客さんと一緒に秋祭りを楽しむことができる。</p> <p>活動をふり返り、身近な自然に関心をもつとともに、秋になった自然の中をさんぽしたり、楽しく遊んだりしながら、季節の変化に気付くことができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>看板をつくり、お店の用意をしたりしながら秋祭りの会場づくりをする。</li> <li>「遊ばせやさん」と「遊びやさん」に分かれて楽しく遊ぶ。</li> <li>活動をふり返り、見たこと聞いたことをまとめる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分たちがつくった作品を身近な人々に伝えたり、一緒にかかり合いながら楽しく活動できるようにする。</li> <li>幼稚園や保育園の園児を招いて一緒に活動したりしながら、自己の成長を実感する機会にする。</li> <li>国語(話す・聞く)、図工(表現)と合科的な指導を図る。</li> </ul>	<p>※目標(3)、内容(8)</p> <p>★改善の具体的事項(オ)</p> <p>※指導計画の作成と内容の取扱い1-(3)</p>	
2-3	12-1	<p>◇しろい いきをはきながら</p> <p>教科書P.74~85 [15時間]</p> <p>・冬のころのようすを探検したり、自然に親しんだりしながら、身近な自然の変化に気付き、自分たちの生活も見直し、工夫して楽しく生活することができる。</p>	<p>○わくわく ふゆ さがし(76, 77)</p> <p>これまでと同じ場所にさんぽに行き、冬になって、どうのようようすが変わったかを調べることができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>夏や秋と同じ場所にさんぽに行く。</li> <li>通学路の冬のような、冬の季節感やくらしなどを見つける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>春や夏、秋との違いを見つけたり、比べたりしながら、通学路の冬のような、冬のくらしのようすなどに気付くようにする。</li> </ul>	<p>※内容(5)、指導計画の作成と内容の取扱い2-(2)</p>
		<p>○おひさま だいすき かせと なかよし(78, 79)</p> <p>野原や公園に行き、自然の中で冬見つけをしながら、季節に合った楽しい遊びを工夫することができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>屋外での冬の遊びや寒さを利用した遊びを見つけたり工夫したりする。</li> <li>自然や遊具を利用して元気にみんなで遊ぶ。</li> <li>冬のビンゴゲームをする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>道徳(自然や崇高なもののかかり)との関連を図る。</li> </ul>	<p>※指導計画の作成と内容の取扱い1-(4)</p>	

※：新学習指導要領〔生活〕 ★：中教審最終答申8. 各教科・科目等の内容⑤生活

学期	月	単元名とねらい (時間)	小単元の目標 (頁)	主な学習活動	移行措置への対応	対応する主な項目
			○こがらしの けいじばん (80, 81) 身近な自然に関心をもつとともに、冬になった自然の中をさんぼしたり楽しく遊んだりしながら、季節の変化に気付くことができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・五感などの感覚器官を使って冬さがしをする。</li> <li>・枯れ木の中、石の下、落ち葉の中などのようすを調べる。</li> <li>・気付いたことを記録カード(あのねカード)にかく。</li> </ul> P.82, 83のポケットずかん(いろいろなあそび) 参照	<ul style="list-style-type: none"> <li>・春や夏、秋との違いを見つけたり、比べたりしながら、諸感覚を使って冬探しをする。</li> <li>・自然の不思議さや面白さを実感しながら科学的な見方・考え方の基礎を培う。</li> <li>・春や夏、秋との違いを見つけたり、比べたりして気付いたことを記録カード(あのねカード)に記入する。</li> <li>・国語(話す・聞く・書く)と合科的な指導を図る。</li> </ul>	※内容(5)、指導計画の作成と内容の取扱い2-(2)  ★改善の基本方針  ※内容(5)、指導計画の作成と内容の取扱い2-(2)
			○また いきたいな さんぼ (84, 85) 活動をふり返り、見つけたこと、聞いたこと、気付いたことなどをまとめ、工夫しながら発表することができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動をふり返り、見たこと聞いたことをまとめる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動をふり返り、見たこと聞いたことをまとめ、工夫してわかりやすく人に伝える。</li> </ul>	※内容(8)
3	2-3	◇ともだち いっぱい おもいで いっぱい 教科書P.86～95 [18時間] ・一年間をふり返り、入学後の行事や生活、自分自身の成長やいろいろな人のかかわりを楽しみ思いだすとともに、作品づくりを通して、進級の喜びや希望をもつことができる。	○いちねんじゅうを おもいだして ごらん (88, 89) 入学後の一年間のできごとを思いだし、心に残ったことを絵に描いたり、思い出の作品を持ち寄ったりして、一年間にあったことをふり返ることができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・できるようになったこと、うれしかったこと、心に残ったことなどを描く。</li> <li>・一年間の思い出や記録、作品、写真などを集めて整理する。</li> <li>・それぞれから出されたことをもとにして、一年間をまとめた学級の暦をつくる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図工(表現)と合科的な指導を図る。</li> </ul>	※指導計画の作成と内容の取扱い1-(3)
			○ともだち いっぱい おもいで いっぱい (90, 91) 一年間で成長した自分の姿をどのような方法でまとめるかを決め、自分にしかない思	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集めた資料を利用して自分なりの方法でまとめ、自分史をつくる。</li> <li>・一年間で成長した自分をふり返る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまで成長した自分をふり返り、自分のよさや可能性に気付くようにする。</li> </ul>	※目標(3)、内容(9)

		い出の作品をつくることができる。	P.91 のポケットずかん（まとめかた）参照	・国語（書くこと）、図工（表現）と合科的な指導を図る。	※指導計画の作成と内容の取扱い 1-(3)
		○じぶんに はくしゅ したいこと (92, 93) 一年間で成長した自分の姿をまとめ、進んで発表することができる。	・成長した、今の自分の姿を描き、心に残ったこと、成長したことなどを書き添える。 ・友だちに自分に拍手したいことを発表する。	・成長した今の自分の姿を描き、心に残ったこと、成長したことなどを書き添えたりして自分のよさや可能性に気付くようにする。 ・国語（話す・聞く）と合科的な指導を図る。	※目標 (3), (4), 内容 (9) ※指導計画の作成と内容の取扱い 1-(3)
		○まってるよ あたらしい いちねんせい (94, 95) 2年生に向けての期待や自覚をもつとともに、次の1年生にしてあげられることを考えて行動する。	・新しい1年生にしてあげたいことを考えて準備する。	・新しい1年生を迎えることへ意欲をもって取り組み、積極的に交流しようとする意欲を培う。 ・道徳（他の人・集団とのかかわり）、特活（学級活動）との関連を図る。	※目標 (3) ★改善の具体的事項 (オ) ※指導計画の作成と内容の取扱い 1-(4)

学期	月	単元名とねらい (時間)	小単元の日標 (頁)	主な学習活動	移行措置への対応	対応する項目
1	4	○町・人・しぜん…ふれあい 大すき (特設ページ) 教科書 P.2～3	自分とのかかわりで町や人、そして自然とのふれあいに関心をもつことができる。	・教科書を見ながら、これからの活動で推測されるさまざまなふれあいを話し合う。	・人や社会、自然とのかかわりに関心をもち、積極的に触れ合おうとする意欲をもたせる。	※内容 (3), (5)
1-2	4-10	◇ふしぎ たんけん ふれあい たんけん 教科書 P.4～29 [22 時間] ・学校の周りにある身近な自然と体全体でふれ合い、自然と遊ぶ楽しさを味わうとともに、自然と親しみながら季節の変化に気付くことができる。 ・自分たちの住んでいる町の商店や公共施設などの見学を自分たちで計画し、計画に基づいて探検し、そこで働く人や町のようすなどを観察したり、調べたりするとともに、自分たちの地域に関心をもち、人とかわる喜びを味わうことができる。	○なにが あるのかな?(6～9) 身近な町のようすを思い浮かべ、より広範囲の町への関心をもつことができる。	・教科書を見て、町のようすを思い浮かべる。	・人や社会、自然に興味・関心をもち、積極的にかかわろうとする意欲をもたせる。	※内容 (3), (5)
			○おひさま 大すき 花いっぱい (10, 11) 春めいた自然の中をさんぽしたり、ビンゴゲームなどの遊びを楽しんだりして、今までとは違った季節の変化に気付くことができる。	・夏、秋、冬に行った同じ場所(野原、小川、あぜ道、並木道、公園など)へさんぽに行く。 ・小川のようす、田んぼのようす、野原のようすを観察する。 ・春の花を摘んだり、春の鳥や虫、水生動物などを見つけたりして遊ぶ。 ・冬や秋、夏との違いを見つめる。 ・チームを組んでビンゴゲームをする。	・上巻「さんぽシリーズ」に続いて、身近な自然の初春のようすに関心をもち、意欲をもたせる。 ・冬との違いを見つけたり、比べたりして、その変化に気付くようにする。 ・地域で生活している人、働いている人のようすに気付くようにする。 ・冬や秋、夏との違いを見つけたり、比べたりして、そのようすや変化に気付くようにする。 ・季節による自然の変化の不思議さを実感しながら自然のようすについての科学的な見方や考え方の基礎を育てていく。	※内容 (3), (5) ※内容 (5), 指導計画の作成と内容の取り扱い 2-(2) ※内容 (3) ※内容 (5), 指導計画の作成と内容の取り扱い 2-(2) ★改善の基本方針
			○そよかぜの けいじばん (12, 13) 自然の中で体のさまざまな機能(五感などの諸感覚)を使って春を見つけたり、遊んだりすることができる。	・諸感覚を使って春さがしをする。 ・小動物を採集したり、春のようすをデジタルカメラに写したりする。 ・採集した虫などを飼う。	・季節による変化に気付くとともに、見つけたことを言葉や絵などで表現する活動を取り入れる。	※目標 (4), 内容 (5)
			○ドキドキ ウキウキ たんけん けいかく (14, 15)	・町の中で、自分で行ったことのある場所や知っている		

		<p>町の中のようにすを思い浮かべ、自分が行ったことのあるところや家族がよく利用する施設などを発表し合い、町への関心を広めることができる。</p> <p>町探検で行きたい場所や調べたいことなどを話し合い、計画を立てることができる。</p>	<p>ところ、家族がよく利用している施設などをカードにかき込み発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・発表したカードをもとに、ウェビングしながら訪ねてみたいところや調べてみたいことを話し合う。</li> <li>・訪問グループを編成し、訪問先までの道順や尋ねてみたいことなどを話し合い計画を立てる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特活（学級活動）との関連を図る。</li> </ul>	<p>※指導計画の作成と内容の取扱い 1-(3)</p>
		<p>○それいけ たんけんたい (16, 17)</p> <p>自分たちの計画を確認したり、準備をしたりして、安全に気を付け、チームワークを保ちながら町探検をすることができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・訪問先の許可をとる方法を考える。</li> <li>・町探検の準備をする。</li> <li>・持ちものを準備する。</li> <li>・探検中にはどのようなことを守ったらよいか約束を話し合う。</li> <li>・グループで立てた計画の確認をする。</li> <li>・約束や交通安全に気を付け町探検に出かける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道徳（他の人や社会とのかかわり）や特活（学級活動）と関連させて指導を図る。</li> </ul>	<p>※指導計画の作成と内容の取扱い 1-(4)</p>
		<p>○町は ふしぎが いっぱい (18, 19)</p> <p>自分たちが立てた計画にそって訪問し、町や施設のようすを調べることができる。</p> <p>また、町には、そこに住む人たちの安全や暮らしを守るための施設やきまり、障害をもつ人たちのための施設など、いろいろな工夫があることに気付くことができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・絵文字、点字、バリアフリーなど、体が不自由な人たち（肢体不自由者、視覚障害者など）のための町の工夫に気付く。</li> <li>・生活を楽しくしたり、安全に過ごしたりするための町の工夫を見つける。</li> <li>・環境にやさしい町にするための工夫に気付く。</li> <li>・見つけたこと、気が付いたこと、感じたことなどをカードや機器を利用して記録する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・絵文字、点字、バリアフリーなど、高齢者や体が不自由な人たち（肢体不自由者、視覚障害者、聴覚障害者など）のための町の工夫に気付くとともに、身の回りにはみんなで使うものがあることに気付くようにする。</li> <li>・生活を楽しくしたり、安全に過ごしたりするための町の工夫や働いている人のようすに気付くようにする。</li> <li>・環境にやさしい町にするための工夫や働いている人のようすに気付くようにする。</li> <li>・見つけたこと、気が付いたこと、感じたことなどをカードや視聴覚機器を利用して記録するとともに、地域のよさに気付くようにする。</li> </ul>	<p>※内容 (3), (4)</p> <p>※内容 (3)</p> <p>※内容 (3)</p> <p>※目標 (4), 内容 (3)</p>

※：新学習指導要領 [生活] ★：中教審最終答申 8. 各教科・科目等の内容⑤生活

学期	月	単元名とねらい (時間)	小単元の目標 (頁)	主な学習活動	移行措置への対応	対応する主な項目
			○ふれあい インタビュー (20, 21) 働く人たちやそこで出会った人たちに、インタビューのマナーを守って話を聞き、町のように働く人たちなどについて調べることができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インタビューするときのマナーを話し合う。</li> <li>・マナーを守りながら、働いている人や出会った人に話を聞く。</li> <li>・インタビューのようすを録音やメモなどで記録する。</li> <li>・施設のようすを絵に描いたり、写真に撮ったりする。</li> <li>・教科書にある手話を覚え、手話を使った挨拶をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道徳（他の人や社会とのかかわり）との関連を図る。</li> <li>・国語（話すこと・聞くこと）と合科的な指導を図る。</li> <li>・自分の伝えたいことを整理して、相手のことを考えながらインタビュー活動を深める。</li> <li>・豊かな表現活動に発展させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>※指導計画の作成と内容の取扱い 1-(4)</li> <li>※指導計画の作成と内容の取扱い 1-(3)</li> <li>※内容 (8)</li> <li>※目標 (4)</li> </ul>
			○ドキドキ はじめてのたいけん (22, 23) 簡単なお手伝いや体験を通して、町で働く人がどんなに大変な仕事をしているか気付くことができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インタビューなどを通じて、知り合った店の人や諸施設の人をお願いして、簡単なお手伝いや体験をさせてもらう。</li> <li>・お手伝いや体験させてもらったことをまとめたり、発表したりする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道徳（他の人や社会とのかかわり）との関連を図る。</li> <li>・国語（話すこと・書くこと）との合科的な指導を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>※指導計画の作成と内容の取扱い 1-(4)</li> <li>※指導計画の作成と内容の取扱い 1-(3)</li> </ul>
			○もっと しりたい 町のこと (24, 25) 交通機関を利用して行ける場所をさがし、自分たちで実際に利用して行くことができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・もっと遠くの場所（公共施設など）に行くことができないかどうか話し合う。</li> <li>・交通機関などを使った行き方を調べたり準備したりする。</li> <li>・行く場所を決め、交通機関などを利用して訪問する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共物や公共施設を利用し、みんなで使うものであることから正しく、安全に利用するよう支援する。</li> <li>・道徳（社会とのかかわり）と関連させて指導を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>※内容 (4)</li> <li>※指導計画の作成と内容の取扱い 1-(4)</li> </ul>
			○たんけん たくさん 大はっけん (26, 27) 町探検の中で見つけたこと、気付いたことなどを、自分なりの表現でまとめ、自分たちの住んでいる町を理解するとともに、さらに興味・関	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町探検で調べたことをもとに、壁新聞や紙芝居、パネルなどの方法を使ってまとめる。</li> <li>・町の中にあった不思議をもとにクイズをつくる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町探検で調べたことをもとに、壁新聞や紙芝居、パネルを使うなど工夫してまとめたり、町の中にあった不思議をクイズにしたりして、言葉・劇・絵・動作でまとめるなど、豊かな表現力を育てていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>※目標 (4)</li> </ul>

			心を深めることができる。			
			○あの 人に あったよ こんなこと したよ (28, 29) 活動をふり返り、町探検の中で見つけたこと、気が付いたことなどを発表し、自分たちの住んでいる町を理解するとともに、さらに興味・関心を深めることができる。	・まとめたことをもとにして、調べてわかったことや気付いたことなどを発表する。 ・みんなでクイズ遊びをする。 ・お世話になった人に手紙を書く。	・お世話になった人や家族を招待し、まとめたことをもとにして、調べてわかったことや気付いたことを発表するなど伝え合う活動を積極的に取り入れる。 ・道徳（他の人とのかかわり）との関連を図る。	※内容 (2), (8)  ※指導計画の作成と内容の取扱い 1-(4)
1-2	4-12	◇おひさまの におい いっぱい とれたてのやさい 教科書 P.30～43 [20 時間] ・長期間にわたって計画的に野菜づくりをすることを通して、野菜の育て方や育てることの工夫などに気付くとともに、友だちと協力して元気な野菜を育て、収穫を喜び合うことができる。	○なにを つくろうかな (32, 33) 自分が食べた思い出の野菜を思い起こし、自分でつくりたい野菜を決めて、栽培の準備を進めることができる。	・一人ひとりが野菜についての思い出話をする。 ・自分でどんな野菜を栽培して食べたいかを決めて書きとめる。 ・種や苗の入手方法を考えたり、栽培の仕方について調べたりする。		
			○こまった どうしよう (36, 37) 自分たちで決めた野菜の種蒔きから収穫まで、生長に合わせて世話をしたり、観察を通したりして、生長の変化に気付くことができる。	・学級菜園を耕したり、プランターや鉢などに土や肥料を入れたりして準備をする。 ・自分が選んだ種を蒔いたり、苗を植えたりする。 ・草とり、土寄せ、芽欠き、施肥などをしながら世話をする。  ・生長のようすを記録にかく。  ・栽培中に起こる困ったことは、みんなで知恵を出し合い、知っている人に聞くなどのよい方法を考える。 P.34, 35のポケットずかん(やさいの そだつ ようす) 参照	・草花を栽培したときのことを思い出しながら活動を発展させていく。  ・育てている野菜の生長の変化に気が付き、自然の不思議さを実感するとともに、科学的なものの見方や考え方を育む。 ・生長のようすを記録にかく。その際、気付いたことを、比べたり、たとえたりして表現を工夫させる。 ・野菜が生長していく変化に気が付き、自然の不思議さを実感する活動を充実する。  ・栽培中に起こる困ったことは、みんなで知恵を出し合ったり、野菜の育て方を知っている人に話を聞くなど情報を収集しながら問題解決していく力が身に付くようにする。	※内容 (7), 指導計画の作成と内容の取扱い 1-(2)  ★改善の基本方針  ※指導計画の作成と内容の取扱い 2-(2)  ★改善の基本方針  ※内容 (8)

※：新学習指導要領 [生活] ★：中教審最終答申 8. 各教科・科目等の内容⑤生活

学期	月	単元名とねらい (時間)	小単元の目標 (頁)	主な学習活動	移行措置への対応	対応する主な項目
			○とれたよ とれた どんな あじ? (38, 39) 大きく育った野菜のようすを確かめたり、収穫期のきた野菜を取り入れたりして、みんなで喜びを分かち合うことができる。	・自分で育てた野菜の収穫をする。  ・収穫の記念写真を撮ったり、簡単な調理をして、みんなで食べたりする。  P.39のポケットずかん(サツマイモをつかって)参照	・栽培の過程を思い出しながら、自然の不思議さ・巧みさや面白さを実感できるようにする。  ・収穫の喜びを味わい、自然のすばらしさを実感できるようにする。  ・道徳(自然や崇高なもののかかわり)、特活(学級活動)との関連を図る。	※内容(7) ★改善の基本方針  ※目標(2)、内容(7)  ※指導計画の作成と内容の取扱い1-(4)
			○さむさに まけず げん気にそだて! (40, 41) 収穫後の畑で秋蒔き野菜を育てたり、冬野菜の保存の仕方にはどんな方法があるかを調べ、活動する。	・野菜栽培に詳しい人に教わりながら、冬に収穫する野菜を栽培する。  ・冬野菜を使った料理を工夫してつくり、みんなで食べる。	・地域に合った(秋・冬)野菜を栽培し、寒くても生長していくようすやその変化に気付き、それらが生命をもっていることを実感する。併せて、生命を愛護する心情を育てていく。  ・道徳(自然や崇高なもののかかわり)、特活(学級活動)との関連を図る。	※内容(7) ★改善の具体的事項(エ)  ※指導計画の作成と内容の取扱い1-(4)
			○また そだてたいな (42, 43) 野菜づくりの活動をふり返り、野菜の育て方や育てる工夫などに気付くとともに、再び友だちと協力して野菜を育てようとする意欲をもつことができる。	・野菜づくりから調理までの活動をふり返り、野菜の育て方や育てたことを思い出す。  ・野菜づくりの活動をふり返り、再び友だちと協力して野菜を育てようとする意欲をもつ。		
1-2	5-9	◇いきいき キラキラ 生きている 教科書 P.44~59 [14 時間]	○あっち こっち 生きものいろいろ (46, 47) 近所の野原や茂みの中には、さまざまな生きものがそ	・近くの野原、公園、小川や池などに行き、生きものようすを観察したり採集したりする。	・身近な自然や生きものとかかわることによって、自然の不思議さや面白さを実感する場面を設定する。	※内容(7) ★改善の基本方針

<p>・身近な生きものをさがしたり飼育・観察したりする活動を通して、自然環境や生きものへの親しみをもつとともに、それらを大切にしようとする心情を育てる。</p>	<p>の環境に合わせてすんでいることに気付くことができる。</p>	<p>・どこにどんな生きものがいるかを知る。</p>	<p>・道徳（自然や崇高なもののかかわり）、特活（学級活動）との関連を図る。</p>	<p>※指導計画の作成と内容の取扱い1-(4)</p>
	<p>○そだてたいな できるかな (48, 49) 採集した生きものの環境を考えてすみかをつくり、毎日、世話をして育てる。</p>	<p>・すんでいた場所の水や泥、水草などにも気付き、飼育の準備をする。</p> <p>・個人またはグループで育てたい生きものを決め、それぞれの生きものに合うすみかを工夫してつくり毎日飼育する。</p> <p>・餌や環境など生きものが生息していくうえで必要なことを調べる。</p> <p>P.56, 57のポケットずかん(生きものの そだてかた)参照</p>	<p>・道徳（内容3）・特活（学級活動）との関連を図る。</p> <p>・生きものに詳しい人や上級生に聞いたり、本やインターネットなどで調べたりするなどして、生きものに合った環境を整える。</p>	<p>※指導計画の作成と内容の取扱い1-(4)</p> <p>※内容（7）、（8）</p>
	<p>○生きものの ふしぎ はっけん (50, 51) 毎日の世話をする中で、生きものの動きや成長・変化のようすを観察したり、発見したことをまとめたりすることができる。</p>	<p>・世話をしながら発見したことやわかったことなどを記録する。</p>	<p>・飼育活動を通して生命をもつことや成長変化しているようすに気付き、生きものへの親しみを持ち、大切にすることを養う。</p> <p>・世話をしながら発見したことや気付いたこと、わかったことなどを言葉や絵で表現できるようにする。</p>	<p>★改善の具体的事項（エ）</p> <p>※目標（4）</p>
<p>○すみか はっけん！ (52, 53) 近所の野原や茂みの中には、さまざまな生きものがその環境に合わせてすんでいることに気付くことができる。</p>	<p>・近くの野原、茂みなどに行き、生きものようすを観察したり採集したりする。</p> <p>・どんなところにどんな生きものがいるかを知る。</p> <p>・簡単なビオトープをつくり、近くのビオトープを観察したりする。</p>	<p>・観察したり、採集したりしながら、自然の不思議さ・巧みさや面白さを感じ得るよう工夫する。</p> <p>・道徳（自然や崇高なもののかかわり）との関連を図る。</p>	<p>※指導計画の作成と内容の取扱い1-(4)</p>	

※：新学習指導要領 [生活] ★：中教審最終答申 8. 各教科・科目等の内容⑤生活

学期	月	単元名とねらい (時間)	小単元の目標 (頁)	主な学習活動	移行措置への対応	対応する主な項目
			○生きもの 大しゅうごう (54, 55) 毎日の世話をする中で、生きものの動きや成長・変化のようすを観察したり、発見したことをまとめ、発表したりすることができる。	・世話をしながら発見したことやわかったことなどを記録したり発表したりする。	・他の友だちが飼育している生きものと自分が飼育している生きものを比べ合うなどして、発見したことや気付いたこと、わかったことなどを言葉や絵で表現できるようにする。	※目標 (4), 内容 (8)
			○わたしと なかよしの 生きものたち (58, 59) これまでに育ててきた生きものの成長のようすをふり返り、自分なりの表現を工夫して表すことができる。	・自分が育ててきた生きものようすを話、詩、絵、立体模型などの方法を使ってまとめる。 ・作品を集めて展覧会を開く。	・飼育した生きものへの親しみをもち、生命愛護の心情を培う。  ・道徳（自然や崇高なものとかかわり）との関連を図る。	★改善の具体的事項 (エ)  ※指導計画の作成と内容の取扱い 1-(4)
2	10-11	◇つくって ワクワク あそんで ワイワイ 教科書 P.60~73 [18時間] ・身のまわりにある廃品などを活用して、簡単なしくみで動くおもちゃをつくったり、大勢で遊べる共同作品をつくったりするとともに、みんなで遊び方を工夫して楽しむことができる。	○みんなで つくろう あそびの ひろば (62, 63) 自分たちがこれまでに経験したお祭りについて話し合い、どんな祭りにしたいか考え合う。  ○アイデア あつまれ! (64, 65) 1・2年生合同で実施する「こどもまつり」を企画し、情報機能を利用して参加を広く呼びかけることができる。	・自分たちが経験したことのあるお祭りについて話し合う。  ・1年生と2年生合同の「こどもまつり」を計画する。 ・1年生に「いっしょにしませんか」と投げかけをする。 ・ファックス、インターネット、手紙、ポスターなどを利用して、さまざまな人にお祭りへの参加を呼びかける。 ・自分はどうようなコーナーをつくって参加するかを出	・自分たちが経験したお祭りをもとに、これからの遊びの広場についてみんなで話し合う。  ・幼稚園児や保育園児、保護者、お世話になった人など、誰を招待すればよいか、みんなで話し合って考える。  ・身近な人々と進んでかかわろうとする態度を育てる。  ・特活（学級活動）との関連を図る。	中教審最終答申 7. 教育内容に関する主な改善事項 (3) 伝統や文化に関する教育の充実  ※内容 (8), 指導計画の作成と内容の取扱い 2-(3)  ※内容 (8)  ※指導計画の作成と内容の取扱い 1-(3)

			<p>し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書をヒントに、さらにアイデアや工夫を加えて、楽しいゲームや手づくりコーナーなどを計画する。</li> </ul> <p>P.66, 67のポケットずかん(手づくりおもちゃ)参照</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身近にある物を使ったりなどして、遊びや遊びに使う物を工夫してつくり、その面白さや不思議さに気付き、みんなで遊びを楽しむことができるようにする。</li> </ul>	※内容 (6)
	○あそびの ひろばへ ようこそ (68, 69)	<p>みんなで協力してこどもまつりの準備をしたり、会場づくりをしたりして、一緒に楽しく遊ぶことができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身のまわりにある廃品や収穫した野菜を利用したり、友だちと助け合ったり、近所の人に教わったりしながら、お祭りに出すものを準備する。</li> <li>・教科書をヒントに、みんなで楽しむことのできる手づくりおもちゃやゲームなどをつくる。</li> <li>・遊び方やゲームの仕方を考えたり、参加賞などをつくったりする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼稚園児や保育園児、保護者、お世話になった人を招待し、楽しい“あそびのひろば”になるよう工夫していく。</li> <li>・図工（表現）と関連させて指導する。</li> <li>・道徳（他の人とのかかわり）、特活（学級活動）との関連を図る。</li> </ul>	<p>※指導計画の作成と内容の取扱い 2-(3)</p> <p>※指導計画の作成と内容の取扱い 1-(3)</p> <p>※指導計画の作成と内容の取扱い 1-(4)</p>
	○いらっしゃい いらっしゃい (70~73)	<p>みんなで協力してこどもまつりの準備をしたり、会場づくりをしたりして、一緒に楽しく遊ぶことができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どこで何をするかなどの会場の割りふりや会場案内の準備、当日の役割分担などを決める。</li> <li>・1年生や招待した人たちと一緒に楽しく遊ぶことができる。</li> <li>・ゴミを分別収集しながら、後片付けをする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童と園児が相互に交流し合って楽しく活動し、自らの成長を実感する機会にする。</li> </ul>	<p>※目標 (3)</p> <p>★改善の具体的事項 (オ)</p>

学期	月	単元名とねらい (時間)	小単元の目標 (頁)	主な学習活動	移行措置への対応	対応する主な項目
2-3	12-1	◇いっしょに いると あんしん 教科書 P.74～83 [12時間] ・家族とともにしていることや、家族にしてもらっていることを調べ、家族のことや自分のできることを考え、自分の役割を進んで果たすことができるようにする。	○わすれないよ あのこと (76, 77) 自分の家族とのかかわりやそれぞれの趣味などを調べ、みんなで力を合わせて楽しく生活することができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家の人の好きな趣味や自分とのかかわりなどを調べる。</li> <li>・自分と家の人とのかかわりを表すものをつくり、関係を紹介する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道徳（集団や社会とのかかわり）との関連を図る。</li> <li>・道徳（自分自身に関すること）との関連を図る。</li> <li>・道徳（集団や社会とのかかわり）や特活（日常生活への適応）との関連を図る。</li> <li>・自分でできることや自分の役割を積極的に果たそうとする意欲を培う。</li> <li>・家族と一緒に、ボランティアに参加するなど、地域の行事への積極的な参加を促す。</li> <li>・身近な人々とかかわることの楽しさを実感できるようにする。</li> <li>・身近な高齢者などから、遊びを教わったり、古くから伝えられているおもちゃや飾りのつくり方を教わる機会を設ける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>※指導計画の作成と内容の取扱い 1-(4)</li> <li>※指導計画の作成と内容の取扱い 1-(4)</li> <li>※指導計画の作成と内容の取扱い 1-(4)</li> <li>※目標 (3)</li> <li>※目標 (1)</li> <li>※指導計画の作成と内容の取扱い 2-(3)</li> </ul>
			○じぶんで すること できること (78, 79) 自分の一日の生活を見つめ、自分一人でできる身の回りのことや、健康で規則正しい生活に進んで取り組むことができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分が起きてから寝るまでの、一日の生活暦をつくる。</li> <li>・自分でできたことなどを、カードにかきながら、しばらくの間挑戦する。</li> <li>・健康的な規則正しい生活ができるように、新しく一日の生活暦をつくりかえて取り組む。</li> </ul>		
			○わたしにも できる いえのしごと (80, 81) 自分の一日の生活を見つめ、家族の一員として自分ができそうなことや、仕事に進んで取り組むことができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家族の一員として、自分でできそうな仕事を見つける。</li> <li>・自分でできたことなどを、カードにかきながら、しばらくの間挑戦する。</li> </ul>		
			○おじいちゃん おばあちゃんと いっしょ (82, 83) お年寄りを訪問し、昔の遊びを教わったり、昔話をきかせてもらったりしながら、やさしさやあたたかさにつれられることができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お年寄りを訪問して、一緒に遊んだりお話をしたりする。</li> <li>・お年寄りを招待し、子どものころに遊んだ遊びなどを教わり楽しく遊ぶ。</li> </ul>		

中教審最終答申 7. 教育内容に関する主な改善事項 (3) 伝統や文化に関する教育の充実

			知り合ったおじいちゃんやおばあちゃんに教わりながら、さまざまな日用品や飾りなどをつくり、先人の知恵を学ぶことができる。	・町探検などを通して知り合った人に教わりながら、日用品や廃材などを利用して作品をつくる。	・国語（書く）や図工（造形遊び）との関連を図る。	※指導計画の作成と内容の取扱い1-(3)
3	2-3	◇すくすく ぐんぐん 教科書 P.84~95 [14時間] ・自分の誕生から現在までの成長の記録をつくることを通して、今日までの自分の成長には多くの人々の支えがあったことに気付くとともに、それらの人々に感謝の気持ちを持ち、新学年への意欲と希望をもつことができる。	○わたしの おもい出はね… (86, 87) 幼いころに使った思い出のものや、家族へのインタビューなどを通して自分をふり返り、そのころのようすを話すことができる。	・小さいころの洋服、おもちゃなど思い出のものを見せながら幼いころのようすを発表する。 ・幼いころに使ったものや写真などを持ち寄り展示会を開く。 ・幼いころの思い出を、「タイムマシーンにのって」カードにかく。 ・思いだせないことは、家族にインタビューして調べる。	・自分自身の成長を振り返り、多くの人々の支えにより自分が大きくなったことに気付かせる。  ・国語（書くこと）との関連を図る。	※内容 (9)  ※指導計画の作成と内容の取扱い1-(3)
			○おせわに なったね あの人の人 (88, 89) 今までお世話になった人のことを思いだし、多くの人の支えによって今日の自分がいることに気付く。	・どんなときにどんな人にどのようなことをお世話になったのかを思いだす。  ・一人ひとりを思いだしながら、絵や文などにかく。  ・どんな人にお世話になったか家の人や身近な人にインタビューをする。	・多くの人の支えにより、自分一人のできるようになったことや成長したことに気付き、自覚できるような活動を取り入れる。  ・道徳（他の人とのかかわり）との関連を図る。 ・国語（書くこと）や図工（表現）との合科的な指導を図る。  ・国語（話す・聞く）との関連を図る。	※内容 (9)  ※指導計画の作成と内容の取扱い1-(4)  ※目標 (4)、指導計画の作成と内容の取扱い1-(3)  ※指導計画の作成と内容の取扱い1-(3)

※：新学習指導要領 [生活] ★：中教審最終答申 8. 各教科・科目等の内容⑤生活

学期	月	単元名とねらい (時間)	小単元の目標 (頁)	主な学習活動	移行措置への対応	対応する主な項目
			○わたしのものがたりづくり (90, 91) 自分なりの方法で成長の記録をまとめながら自分史をつくり、今までの成長のようすに気付くとともにこれからの生き方に夢をもつことができる。 ○できたよ できた (92, 93) 成長した自分をふり返り、今までに自分を支えてくれた人々に感謝の気持ちを表す。	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科書を参考に、自分の成長のようすをまとめる方法を考える。</li> <li>「お世話になった人」の記録や「タイムマシンののって」をもとに、ほかの記録を付け加えながら、自分なりの方法で成長のようすをまとめる。</li> <li>今まで自分を支えてくれた人に、感謝の気持ちを表す手紙やプレゼントなどをつくる。</li> <li>手紙を郵送したり、訪問したりしながら感謝の気持ちを表す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>図工（表現）との関連を図る。</li> <li>自分自身の成長を振り返り、多くの人々の支えにより自分が大きくなったこと、自分でできるようになったこと、自分の役割が増えたことなど自分の成長との関係を捉えることができるようにする。</li> <li>これまでの生活や成長を支えてくれた人々に感謝の気持ちをもつようにする。</li> <li>道徳（自分自身や他の人とのかかわり）との関連を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>※指導計画の作成と内容の取扱い 1-(3)</li> <li>※内容 (9)</li> <li>※内容 (9)</li> <li>※指導計画の作成と内容の取扱い 1-(4)</li> </ul>
			○もうすぐ 3年生 (94, 95) 3年生に向けての期待や自覚をもつとともに、これからの自分のがやりたいことを考え、夢をもつことができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>3年生に向けて、自分の願いや希望を發表し合う。</li> <li>将来の自分の夢について考えることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>これからの成長への願いをもって意欲的に生活しようとする自覚をもたせる。</li> <li>道徳（自分自身に関すること）との関連を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>※目標 (3)</li> <li>※指導計画の作成と内容の取扱い 1-(4)</li> </ul>